



東北管区行政評価局



行政相談マスコット
「キクーン」

東北管区行政評価局は、総務省の地方出先機関として、当局（仙台市）のほか、青森市、盛岡市、秋田市、山形市及び福島市に現地拠点となる行政監視行政相談センターを設置し、東北6県を管轄しています。当局では、「行政運営改善調査」と「行政相談」の2つの業務を通じて、国民の困りごとや行政上の課題を明らかにし、関係府省に対し改善方策等を働きかけることで、より良い行政の実現を目指しています。

行政運営改善調査

政策の担当府省とは異なる立場から、実地に調査し、各府省の政策の効果や業務運営の課題を実証的に把握・分析した上で、行政運営の改善方策を提示します。



いずれも、国の行政機関を対象とし、扱う行政分野が広範となることが当局ならではの特徵！

行政相談

国の行政に関する苦情や意見・要望等を幅広く受け付け、担当行政機関とは異なる立場から事実関係の把握や必要なあっせん等を行い、行政の制度及び運営の改善に生かします。

Message from Staff

なぜこの仕事を選んだのですか？

私が当局の業務に興味を持ったのは、第三者的な立場から行政について考えることができるためです。担当府省とは異なる独自の立場から、非常に多岐にわたる行政分野と関わることができるのは、当局の大きな魅力です。実地調査や現場確認など、行政運営上の課題等を実際にこの目で見に行く機会が多いほか、学校への出前教室や行政相談に関わるイベントを開催したりするなど、職場を飛び出して業務を行うことも多いのも当局の特徴です。局内でのデスクワークにとどまらないからこそ、挑戦の機会も多く、常にフレッシュな気持ちで業務に臨むことができると感じています。

充実した職場環境も当局の魅力のひとつです。職場の雰囲気は和気あいあいとしており、先輩職員とも話しやすく、分からないことは気軽に質問できる環境です。先輩職員は、業務のやり方だけでなく、なぜその業務が必要とされているのかを教えてください、こちらの疑問についても一緒に考えてくれたりするので、業務や行政に関する学びが日々深まっていくのを実感しています。また、様々な研修の受講を通じて自分のスキルを磨くこともできます。

少しでも興味を持った方は説明会等には是非ご参加ください。お待ちしております！



一般職行政区分 採用
(写真：行政相談パネル展でPR活動中のR5年度採用Sさん)

この仕事のやりがいは何ですか？

私が現在所属している評価監視部では、行政運営の改善に関する調査業務を行っています。各行政機関の業務の実施状況を調査し、業務運営上の問題点を明らかにした上で、関係府省に対して行政運営の改善方策について勧告等を行うものです。



一般職行政区分 採用

調査では、相手機関からその業務に関するヒアリングを行い、現場の生の声を聞きます。デスクワークのイメージを持たれがちですが、県外に出張してヒアリングを行うこともあり、外に出る機会も多くある仕事です。そして、想像以上に対人スキルが必要とされる仕事でもあります。

調査の対象分野は、行政相談と同じく、多岐にわたります。事前の勉強が欠かせない業務となり、これまで触れたことのない行政分野の調査を担当するときは、大変に感じることもありますが、行政の全体像や仕組みが整理されてくると、自分の知識として蓄積されていきますので、自分自身の成長を実感することができ、やりがいを感じます。

(写真：R5年度採用Uさんの執務室での風景)

もっと詳しく知りたい方はこちらへ！

当局の業務や先輩職員のメッセージが気になった方は、ぜひ当局HP (<https://www.soumu.go.jp/kanku/tohoku.html>) をご覧ください！！

右記QRコードからもご確認いただけます。

〈問合せ先〉 東北管区行政評価局総務課人事係 TEL：022-262-7831

MAIL：thk-saiyo@soumu.go.jp



おまちしています

